

亀岡市議会中学生議会 質問一覧表

平成30年10月27日

順序	質問者 (学校名)	質問事項	質問要旨	答弁者
1	赤坂 芽衣 川勝あぐり 出村 拓也 (亀岡中学校)	<p>1 亀岡市への定住者を増やすためには</p> <p>2 災害に強い安心して暮らせる亀岡市に</p>	<p>亀岡市の人口は9万人を切り、平成14年から連続で減少し続けています。私の自宅の周りにも空き家が多く、人口の減少を実感しています。日本全体の少子高齢化が進み、人口減少は仕方のない面もあるのですが、近隣の向日市や京田辺市、木津川市など、人口が増加している地域もあります。人口減少が続くと税収入が減り、これから必要になるであろう福祉などの市民サービスの低下が心配されます。私たちは亀岡市が進めるべき重要政策の1つとして「人口増加・維持のために定住者と移住者の誘致促進」を提言します。そこで、現在亀岡市が進めている政策・取組みについて以下の点を質問します。</p> <p>(1) 向日市や京田辺市などは、大阪大都市圏との近さを生かして人口増加に成功しているように感じます。亀岡市も地理的な条件では同じだと考えます。国道423号の整備など、大阪と亀岡を結ぶ交通網の強化が早急に必要だと考えますが、このことについてどのようにお考えですか。</p> <p>(2) 京都スタジアム(仮称)を活用した取組みは、観光業や商業の活性化の側面が強いように感じますが、市の人口増加に寄与するような活用法は何かありますか。</p> <p>(3) その他、中学生の私たちが知っておくべき「定住者と移住者の誘致促進」のための政策がありましたら教えてください。</p> <p>定住者・移住者を増やすためには、亀岡市が安心して暮らせるまちであることが第一の条件であると考えます。今年に入ってからだけでも地震や豪雨、台風などにより甚大な被害が出ました。今後も大きな災害が起こる可能性があり、被害を少しでも減らすための対策が必要であると考えます。</p> <p>中でも特に心配なのは災害時の亀岡市の孤立化です。西日本豪雨の際には、国道9号や京都縦貫道、大阪北部につながる道路などが通行止めになり、JRも運休しました。京都市や大阪との交通網が寸断され、人と物の移動ができなくなり、多くの市民生活に支障が出ました。亀岡市立病院や京都中部総合医療センターでは勤務する医師の大半が出勤できず、診療にも影響が出たと聞きます。これは周囲を山に囲まれた亀岡市にとっては長年の課題だと思います。</p> <p>南海トラフなどの大きな地震が予想されている現在、災害が起きて市民の命と安全を守ることは最も大切です。地震によって被害を受けた大阪や神戸、さらに北近畿からの被災者も避難先として受け入れるべきでしょう。</p>	

			<p>以上のことについて、亀岡市の防災・減災に対する考えと、現在進められている災害時の避難道路や輸送道路の確保対策についてお聞かせください。</p>	
2	<p>稲原由里秋 糸井 万琴 磯部 紗希 (別院中学校)</p>	<p>1 別院地域について</p> <p>2 別院中学校について</p>	<p>私たちの住んでいる別院地域は、亀岡市の南部に位置し、大阪府に隣接している山合いの緑豊かな場所です。道路の横には山がそびえ、田畑が続き、きれいな川も流れています。別院地域の山は、登山やハイキングをするのに適した高さであり、もう少し登山道が整備されればいいのと思います。江戸時代に石門心学を説いた石田梅岩は、この別院地域で生まれ育った人で、生家跡があります。農業が中心ですが、特殊ばねの製造で世界的な企業や、地元産の木材を活用している会社など、ユニークな産業もあります。</p> <p>亀岡市の中心部から別院地域までは車で20分程度の距離ですが、その道路はところどころ狭く、大型車が離合しにくい箇所がいくつかあります。7月の大雨の時には、何カ所かで土砂崩れや道路の陥没が起り、通行止めになりました。今でも復旧できていない箇所があります。もし、道路が今以上に整備されたら、亀岡市街地からのアクセスもよくなり、人や物の交流も盛んになると思います。</p> <p>(1) 別院地域等の周辺部を維持・発展させるため、道路を整えるとともに、公共交通機関を整備していただきたいです。</p> <p>(2) 登山やハイキングが気軽に安全に楽しめるよう、道路の整備や森林浴用の施設の建設をお願いしたいです。</p> <p>(3) 郷土の偉人である石田梅岩にちなんだ施設の建設や、豊かな自然を活用した観光の振興を図っていただきたいです。</p> <p>(4) 地元で就職できるよう企業等の誘致を図っていただきたいです。さらに、若いファミリー層が暮らしやすいような施策を考えてほしいです。</p> <p>私たちの通っている中学校は、山合いの学校なので夏は涼しいと思われるかもしれませんが、確かに早朝のうちは涼しいと思いますが、授業が始まる頃には、かなり暑くなり、午後の教室は気温30度を優に超えています。</p> <p>また、建設されてから35年以上経つ校舎は、雨漏りする箇所がいくつかあり、大雨や台風の時には、廊下や階段が濡れることがあり危険です。</p> <p>そして、最も気になる課題は、生徒数の減少です。全国的な少子化の波は、この別院地域も例外ではなく、十数年前には百人を超えていた生徒は、現在21人です。</p> <p>しかし、少人数の学校だからできることや、豊かな自然環境を生かした農園活動などのユニークな取り組みがたくさんあります。何より、生徒一人一人のつながりが強く、また、誰もが傍観者ではなく主体的・積極的に行動するというよさがあります。地域</p>	

			<p>の方の中学生に対する期待も強く、職場体験や地域の行事の時などに、よく声をかけてくださいます。</p> <p>(1) 学校の施設・設備を充実させ、安心かつできるだけ快適に学校生活を送れるようにしていただきたいです。特に、市内の他の中学校ですすでに設置されたクーラーを早急に設置してほしいです。</p> <p>(2) 一人一人の特性や個性を尊重するとともに、主体性を伸ばせるという少人数のよさを持つ別院中学校を、ぜひ今後も存続させてほしいです。地域に学校が存在することで、地域を継続的に維持・発展させることが可能になると考えます。小学校で実施されている特認校制度の活用等、でき得る工夫をして、別院中学校の存続をお願いしたいです。</p>	
3	<p>権安 日向 谷本 美咲 宗川さくら (南桑中学校)</p>	<p>1 子育て支援について</p> <p>2 環境保護と防災について</p>	<p>最近の少子化の影響で、南桑中学校の生徒数もかなり減少しています。今後は、これまでの生徒会行事や部活動を維持することが難しくなってきます。</p> <p>私は子どもを生み育てやすい環境をもっと整えるべきだと思います。例えば、子どもが安心して遊べる場所や子どもを預けられる保育施設をふやし、5歳未満の子どもがいる世帯には、必需品の割引カードを配布するなど、子育て支援の仕組みを手厚くしてほしいです。</p> <p>校区である大井町並河の工業団地周辺では新しい住宅地が造成されており、小さな子どもを持つ世帯が少しふえることが期待されます。それだけに、子育てしながら仕事ができる環境づくりが何より大切だと思います。子どもが少ないことは、未来の亀岡にとって重大な問題です。若い世代が輝き、安心して子育てができる環境を整えることが一番大切であり、市が保育サービス等の子育て支援を充実させることで、若い世代が亀岡に集まることにもなると思います。これからの亀岡市の子育て支援について、お聞かせください。</p> <p>7月初めの豪雨によって起きた土砂崩れに対し、道路の速やかな復旧と、再発防止のため、砂防ダムや河川、ため池などの堤防のチェックをお願いしたいと思います。今回の災害から考えると、亀岡は山がとて多いので、山間部に住んでおられる人々を支援することが必要だと思います。土砂崩れが起きたら大変な被害になってしまうので、民家が近くにある山の斜面を固めたり、平らにする対策が急務だと思います。</p> <p>災害や人間の活動によって破壊された分は、人の手で取り戻さなければなりません。植林や河川的环境保全によって、絶滅危惧種の生物も救うことができ、温暖化を抑えることにもつながると思います。また、山に囲まれた美しい自然環境は、水もきれいでおいしいので、アウトドア向けの観光客を呼び込むこともできるのではないのでしょうか。</p> <p>そのためにも、まずは亀岡市民が緑化を心がけた</p>	



		<p>3 公園の重要性について</p>	<p>後の亀岡市の明るい未来のためにも、今この段階で街灯の数を増やしていただけないでしょうか。</p> <p>公園にはいくつかの役割があると思います。</p> <p>1つ目は、「体力を養う場」だと思います。幼少期の子どもにとって、外で遊ぶという経験は身体のさまざまな神経系統の発達に非常に有効です。また、日本はついに超高齢社会に突入しました。生産年齢人口の減少から考えると、60歳を過ぎても働かなければならない時代が目の前にやってきています。その時にはやはり、ある程度の体力が必要ですが、高齢になってから体力をつけるのは難しいものがあります。50年、60年という長いスパンでこの国のこと、亀岡市のことを考え、幼少期から基礎となる体力をつけておくことがとても重要であると思います。</p> <p>2つ目は「地域のコミュニケーションの場」だと思います。老若男女問わず、幅広い世代の人が自由に集い、知らない人同士が顔見知りになり、時には話を交わし、知り合いになり、人と人がつながる場となり、徐々にその地域の絆が生まれ、そして深まっていきます。そうした絆は地域の活性化をもたらし、災害など、地域に危機が迫ったときに地域全体が協力し、助け合うことにつながっていくはずで</p> <p>これらのことから、目には見えづらいですが、公園がその地域に果たす役割は大きく、そして深いものがあります。公園の数をふやしたり、公園をより充実した施設にするなどの検討をしていただけないでしょうか。</p>	
5	<p>柴山 幸 小林 希颯 園山 来海 (東輝中学校)</p>	<p>1 亀岡市の交通網の整備等について</p>	<p>亀岡駅のロータリーの混雑・マナー改善について、バスの駐車スペースに送迎の乗用車が停車していて、事故になりかねない状況です。また、ロータリーを横断する歩行者が危険です。</p> <p>(1) 南口ロータリーは公共交通機関に限定し、北口ロータリーを乗用車専用の待機所にしてはどうでしょうか。</p> <p>亀岡駅や馬堀駅は、朝の通勤時に混雑するとホームから転落する危険性があります。特に馬堀駅は、狭い上に快速が通過するため、市内の駅で最も危険性が高いです。</p> <p>(2) 駅にホームドアを設置できないでしょうか。</p> <p>先日の西日本豪雨では、亀岡市でも土石流が発生し、お亡くなりになった人もおられました。また多くの道路が寸断され、鉄道も運休したため、長時間「陸の孤島」状態になりました。</p> <p>(3) 国道9号(老ノ坂峠)以外に、災害時にも対応できる京都市内とを結ぶ幹線道路を建設してほしいです。</p> <p>(4) 南つつじヶ丘桜台地域は、縦貫道上の架橋が災害で破損した場合、ライフラインが寸断されるので、その対応策を考えてほしいです。</p> <p>(5) 自家用車利用台数の削減のため、市内のバス</p>	

料金を統一運賃とし、補助等で安くして、利用者増を図ってほしいです。

## 2 亀岡市の将来像について

最近、校区内でも少子高齢化が進んでいるように感じています。ある調査の結果では約20年後、亀岡市では、20～30代の女性の人口が現在よりも半減するという深刻なデータも発表されています。働く女性が一生住み続けたいと思えるまちづくりを進めることが、少子高齢化対策にもつながると考えます。定住したいと思える亀岡市にしてほしいと考えます。

- (1) 働いている人たちに出会いの場を提供するなど、市を挙げてもっと婚活を推進してはどうでしょうか。
- (2) 全国的な保育士不足という問題がある中で、亀岡市は人材確保をどう進めていくのでしょうか。
- (3) 10人に1人が産後うつになるとされていますが、産後ケア事業の認知度を高めたり、事業を気軽に利用したりできる工夫をどのように考えていますか。
- (4) 地元でUターンしたくても仕事がないという話題が地方都市では多く聞かれます。若者が長く働くことができる場所をどのように創出しようと考えていますか。
- (5) 市民生活を支える学校の先生や保育士、介護士などをされている人は、過酷な仕事内容に比べて賃金が低く、休職したり離職されたりする人が多いと聞きます。公共サービスの安定と向上という観点から、亀岡市独自で仕事内容に見合った賃金を確保することはできないでしょうか。
- (6) 2020年大河ドラマが「麒麟がくる」に決定しました。今後、イベントや広報活動を充実されることで、観光客の増加も見込まれます。この機会を一時的なものにせず、放送終了後もぜひ継続できるようにしてほしいと考えますが、現在、具体的な計画は考えられているのでしょうか。

## 3 学校等の公共施設の整備について

東輝中学校は、東日本大震災以降「銀杏の取組」を通して、福島県双葉町の双葉中学校の支援を行い、交流を深めています。しかし、遠方であるため、手紙や電話での交流に限定されています。今後互いの顔を見た交流を進めたいと考え、スカイプ等を利用した交流を模索していますが、中学校のPCにはソフトが入れないとの回答があり、企画が頓挫しています。ちなみに双葉中ではすでに導入されており、近隣の中学校とテレビ会議を実施されています。

- (1) 学校内のPCにテレビ電話アプリを導入すれば、市内の生徒会交流も容易にできるのではないかと考えます。また、テレビ会議ができるため、先生方の放課後の出張が減り、放課後の部活動にきてもらえることがふえると思います。

			<p>6月の大阪北部地震では大変怖い思いをしました。東輝中学校はすでに校舎の耐震化はされていますが、創立から40年となり、校舎自体も老朽化が進んでいると思います。また登校途中や朝練中であつたため、安否確認がなかなかできず、とても心配していたと家族から聞きました。</p> <p>(2) 亀岡市内の公共施設の耐震化は大丈夫でしょうか。また迅速に安否確認ができる手段をどう確立していくのでしょうか。</p> <p>現在、京都スタジアム(仮称)が建設されています。完成後は京都サンガのホームゲームに活用すると聞いています。</p> <p>(3) 亀岡市や口丹の中学校の大会や体育祭等の学校行事、各地区の住民運動会などに、無料もしくは低料金で利用することは可能なのでしょうか。</p>	
6	吉田 瑞穂 松田 燎 馬淵 琳平 (大成中学校)	<p>1 亀岡市の公共施設の整備について</p> <p>2 学校の教育環境の整備について</p>	<p>災害時や年末年始は、まちの診療所が閉まっている上に、大型病院も受入れをあまりしてくれていないと感じます。</p> <p>(1) 大型病院を増やしてほしいです。</p> <p>最近、共働きの家庭が増えています。そのため、保育所に子どもを預ける家庭が多いです。しかし、保育所側も人手不足で、対応できていなかったり、長時間労働になっていると思います。</p> <p>(2) 夜間の保育所を設置してはどうでしょうか。</p> <p>また、昼間の保育所から夜間の保育所への送迎をすれば、人手はいりますが、1人当たりに対する労働時間は少なくなると思います。しかし、2つの場所に預けるとなると保育料が高くなり、家庭の負担が大きくなるので、市から補助を出してほしいです。</p> <p>近年、子どもの体力不足やけがが増えています。その原因は、公園の遊具の減少や、ボール使用禁止などのルールが厳しくなり、外で自由に遊べないことだと考えます。遊具の減少の理由として、遊具を正しく使用できていないためにけがが増加し、危険なために撤去されていると思います。</p> <p>(3) ボールが自由に使えたり、いろんな遊具を使う大きな公園をつくってほしいです。さらに要望としては、みんなが自転車で行ける距離につくってもらいたいです。また、けが等については、正しい使い方を保護者がきちんと教えるべきだと思います。</p> <p>大成中学校は創立から35年となります。学校内の設備は創立当時のままであり、老朽化も進んでいます。特にトイレです。まず、校舎のトイレは、目隠しのない男子トイレの前を通り、女子トイレへ行かなければなりません。手洗い場に関しても、独立していないので、手を洗いに行く人、トイレへ行く人が一斉に動くと大変混雑するつくりになっています。また、トイレは1つだけが洋式でその他は和式なので、トイレに行くことを我慢したり、洋式トイ</p>	

			<p>レに行きたい生徒が順番待ちをしていたりするなど、私たちの健康上よくないと思います。次に、グラウンドのトイレも、古くて汚いです。大きな行事や部活動の練習試合などで、たくさんの人が利用することもあります、使いにくい状態です。</p> <p>(1) 男子トイレと女子トイレを別々にし、手洗い場を独立してつくってしてほしいです。また、洋式トイレを増やし、便座の衛生面から、アルコール消毒できるものをつけてほしいです。グラウンドのトイレは、全面的に新しくきれいなトイレにしてもらいたいです。全体的にトイレが暗いので、明るくしてほしいです。</p> <p>次に、大成中学校の体育館についてです。体育館は雨漏りがひどいです。雑巾やバケツを置いて対応していますが、部活動中や体育の時間に足をすべらせてけがをしてしまうおそれがあり、集中して活動できません。また、体育館を使用する際、違う部活動が体育館を半分ずつ使う時もあるので、ボールなどが飛んできて危ない時があります。夏は暑くて熱中症の危険もあります。</p> <p>(2) 体育館の雨漏りを直して、真ん中に仕切りのネットを付けるようにしてほしいです。また、熱中症対策で、クーラーを設置してほしいです。</p>	
7	志賀 大和 山田 麻裕 (詳徳中学校)	<p>1 観光客がより快適に利用できる駅とは</p> <p>2 国際人を育成するために</p>	<p>私たちの最寄り駅は馬堀駅です。近年、馬堀駅には多くの観光客が訪れています。しかし、利用者が多いにもかかわらず、馬堀駅には快速が停車せず、電車の本数が少ないため、駅が混雑し不便を感じます。さらに、外国人観光客が多いにもかかわらず案内表示が不十分なので、駅で困っている人を見かけます。このため、中国語や韓国語など、多言語案内表示があると、より利用しやすくなるのではないかと思います。今後、スタジアムの建設により、さらに観光客数の増加が見込まれます。そこで、多くの観光客が快適に駅を利用するために、具体的な政策があればお聞かせください。</p> <p>亀岡市の中学生は、外国の人と交流したり、生の英語と触れ合う機会が少ないと思います。将来、国際的に活躍できる人を育成していくためには、もっと国際交流を進めていく必要があると思います。具体的には、姉妹都市であるアメリカのスティルウォーター市を中学生が訪問し、ホームステイや大学訪問、現地の中学生との交流などを経験し、さらなる英語上達を図ることです。あるいは、アメリカの中学生を亀岡市の各中学校に招いて、一緒に学校生活を送り、異国の文化を学べるような企画があればと思います。</p> <p>このような企画の実現のために、亀岡市から教育支援をしていただき、よりたくさんの中学生が体験する機会を持てれば、新しい亀岡をつくることができると思います。</p>	

8	<p>中澤 大河 田中未維奈 安藤 満美 (亀岡川東学園)</p>	<p>1 「かめおかフ ォトグランプリ (仮)」の提案に ついて</p> <p>2 子育てしや すいまちづくり、 移住の促進</p>	<p>亀岡市にはよい所がたくさんあります。しかし、京都市内などと比べて、それほど知名度が高いとは言えません。また、亀岡市民でも知らないよい所がたくさん隠れていると思います。そこで、「かめおかフォトグランプリ(仮)」の開催を提案します。</p> <p>内容は、ツイッターやインスタグラム等を活用し、中学校ごとに、自分たちの校区自慢の風景などの写真を募集し、優秀な作品の表彰を行うというものです。現在でも、「みんなの亀岡自慢あれこれ」というホームページがありますが、周りに聞いてみても、中学生で知っている人はほとんどいませんでした。</p> <p>そこで、亀岡市のすべての中学校に呼びかけてこのような企画をすることで、まずは地元の私たちが亀岡の魅力を再発見することができ、そこから、亀岡市の魅力を広く発信していけるのではないかと考えました。</p> <p>具体的には、「美しい景色部門」「珍百景部門」「グルメ部門」などの部門を設け、インターネットの投票による一般審査や、審査員による審査によって、多く票を獲得した作品を表彰するという内容を考えています。その他にも市長に選んでいただく「市長賞」というものをつくれれば、より面白くなるのではないかと思います。</p> <p>また、みなさんが投稿した写真の場所を地図で表した亀岡市のマップを作成し、インターネット上にアップしてはどうでしょうか。そうすることで、亀岡市の魅力を、内部にも外部にも発信することができ、地域の活性化につながるのではないかと考えます。</p> <p>これから亀岡を発展させていくために、移住者を増やすことはとても大切であると考えます。移住したいと思う場所の条件として、子育てのしやすさが挙げられます。そこで、子どもを安心して遊ばせることができる公園をつくってほしいと思います。現在の亀岡に、公園の数はとても少ないと感じます。子どもが遊べる公園をふやすことは、子育てしやすいまちづくりにつながり、さらには移住の促進にもつながるのではないかと考えます。</p>	
---	---	--	--	--